



東京オリンピックに向けて日本文化を発信 学生協力で「創作紙芝居」を制作！

横浜市立大学の学生と横浜紙芝居普及会^{*1}は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、多くの外国人に日本の伝統芸能である紙芝居を体験してもらうことを目的とした、創作紙芝居を制作しました。この創作紙芝居は、横浜紙芝居普及会の代表であり、本学の卒業生でもある山下康さんがストーリーを考案し、横浜市立大学ボランティア支援室の呼びかけで、本学の美術部員の学生が絵を描きました。また、外国人に内容を理解してもらえるよう、本学の学生がボランティアで物語のあらすじを英訳。民話や戦争体験を、昔懐かしい紙芝居の形で外国人に伝えます。2018年1月10日（水）には、地域の方々に向けて創作紙芝居のお披露目会を学内で開催し、今後は地域のイベントや施設などで上演を行っていく予定です。

本取組みは、「東京2020応援プログラム」^{*2}に承認されました。

<https://participation.tokyo2020.jp/jp/event/detail.html?id=a090I00000oilrxQAA>

<創作紙芝居お披露目会 概要>

日 時 2018年1月10日（水）12:00～13:30（予定）

会 場 横浜市立大学 金沢八景キャンパス
（横浜市金沢区瀬戸 22-2）
YCU スクエア前芝生

※雨天・強風時：いちょうの館ラウンジ

主 催 横浜市立大学ボランティア支援室
ボランティア支援室学生スタッフ

共 催 横浜紙芝居普及会

プログラム

- 12:00 活動説明
- 12:15 創作紙芝居上映（15分×1本）
- 12:30 創作紙芝居の内容解説
- 12:50 創作紙芝居上映（15分×2本）
- 13:30 終了



在学生が協力し制作した創作紙芝居

※本取組みは来年2018年に区政70周年を迎える金沢区の「金沢区制70周年記念事業」の承認も受け、横浜金沢を盛り上げます。

※1 横浜紙芝居普及会

代表 山下康（横浜市立大学 文理学部 昭和45年卒業）

2015年10月発足。現在、7名で活動。

<山下康プロフィール>

1998年10月ショッピングセンターで「街頭紙芝居」を始める。2004年1月同ショッピングセンターで延べ観客1万人達成。2006年1月「県立神奈川近代文学館」で公演スタート。2016年8月22回目の公演に観客90名。2012年7月「金沢自然動物園『ののほな館』」で公演スタート。2016年11月21回目の公演に観客40名。2016年7月「青山草月ホール」で2回目のシャンソンミュージカルと共演。現在も月平均4回の公演を行っている。



※2 東京2020応援プログラム

地域の取組から東京2020大会を盛り上げることを目的とし、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会により認証されるプログラム。街づくりや、文化芸術、被災地支援や教育など8つの分野について、非営利団体等が取り組む、多くの人たちの参画を目指す活動に認証される。

【今後の上演予定】

今後、下記の日程で上演予定です。

1. 「金沢自然公園内ののほな館定期上演会」/1月27日（土）14:00～15:00、金沢自然公園内「ののほな館」
2. 「鎌倉路地フェスティバル」での上演/4月28日（土）13:00～13:45、15:00～15:45、カフェ鎌倉 福

横浜市立大学ボランティア支援室とは

横浜市立大学ボランティア支援室は、ボランティアに興味のある学生がいつでも気軽に立ち寄れる「ボランティアの窓口」として2015年1月に開室しました。各種ボランティア募集要項(チラシ)やボランティアに関する資料・書籍などの閲覧ができ、スタッフが、ボランティア登録のサポートや、登録に必要な保険の案内をはじめ、学生一人ひとりの相談に対応しながら、希望に沿った活動を紹介しています。

また、一人でも多くの市大生にボランティアに参加してもらうことを目的に、ボランティア支援室の学生スタッフを中心となって、独自のプログラムを企画・運営しています。2017年度は、ボランティアをしてみたい一般学生と学生スタッフが一緒にボランティアをする「ボラツアー」や、東京オリンピック・パラリンピックでボランティアをすることを目的にした「オリンピック企画」などを実施しています。

<学生スタッフ数>20名

<ボランティア登録学生数>655名

<2017年度ボランティア依頼数>254件

<2017年度学生派遣数>延べ418名

※2017年12月15日現在

◆横浜市立大学ボランティア支援室

Tel:045-787-2444 Mail:volunteer@yokohama-cu.ac.jp 開室時間：平日10:00～17:00（原則）

<http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~voluntee/>

横浜から世界へ

横浜紙芝居普及会×横浜市立大学ボランティア支援室
～日本伝統の創作紙芝居普及活動～キックオフイベント

創作紙芝居 お披露目会



「横浜紙芝居普及会」が創作した物語に
「横浜市立大学の学生」が絵を描き、横浜発の創作紙芝居が完成！

紙芝居を通して、外国の方々や留学生、子どもたちに、日本の歴史や紙芝居文化を知ってもらい、国際交流を図ることを目指している**横浜紙芝居普及会**では、「オリンピック・パラリンピック」に向けて、3つの物語を作りました。その物語に**横浜市立大学の学生**が絵を描き、ここに新たな3つの創作紙芝居が完成しました。

横浜紙芝居普及会と横浜市立大学ボランティア支援室は、今後この紙芝居をいろいろな場所で上演し、紙芝居の普及・国際交流を進めながら、東京2020を盛り上げていきます。

日にち 2018年1月10日(水)

12:00～13:30

ところ 横浜市立大学

YCUスクエア前 芝生

※雨天・強風時 いちようの館

プログラム

12:00 ご挨拶

12:15 創作紙芝居上演①

12:30 創作紙芝居のお話し

12:45 創作紙芝居上演②

主催

横浜市立大学地域貢献担当 ボランティア支援室

ボランティア支援室学生スタッフ Volunch

共催 横浜紙芝居普及会



紙芝居制作協力：横浜市立大学美術部、有志学生

経緯

2017年6月、横浜市立大学ボランティア支援室では、学生スタッフが中心となって「オリンピック企画グループ」を立ち上げ、市大生に向けてオリンピック・パラリンピック関連のボランティアへの参加を推進するための啓発活動を開始しました。

そんな中、2017年7月に『横浜紙芝居普及会』より創作紙芝居の制作ボランティアの依頼を受け、美術部による3つの創作紙芝居の絵の描画と、有志学生による“あらすじ”の英訳のボランティアをコーディネートしました。

横浜市立大学ボランティア支援室では、これを機に代表の山下氏と触れ合う中で、同団体の趣旨と活動に賛同し、引き続き協働しながら活動を進めたいと考えました。

そこで、完成した紙芝居を多くの外国の方々や子どもたち等に向けて上演する場を創出し、オリンピック・パラリンピックに向けた日本文化の発信と国際交流に貢献するための普及活動を行っていきます。

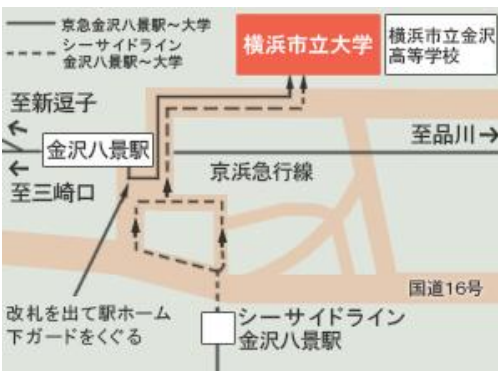
今後の展開

1. 横浜市大ボランティア支援室と『横浜紙芝居普及会』が協働し、外国の方々や留学生に向けて日本に伝わる伝統芸能である紙芝居文化や日本の歴史を伝え、それをきっかけに国際交流を深めるため、外国の方が多く集まるイベント等で、紙芝居を上演していきます。

2. 地域のイベント等に参加し、青少年（市大生含む）や地域の住民・子どもたちへ、紙芝居を通して日本の伝統文化や多文化共生の啓発活動を行い、地域の連携を強めながらオリンピックに向けた機運を盛り上げます。

3. ボランティア支援室学生スタッフを中心に、オリンピック関連の研修会・フォーラムなどのイベントを企画・開催し、多くの方（市大生含む）に、オリンピック・パラリンピック関連ボランティアに興味・関心を持ってもらいます。

場所



横浜市立大学

〒236-0027
横浜市金沢区瀬戸22-2

- 京浜急行線「金沢八景駅」下車徒歩5分
- シーサイドライン「金沢八景駅」下車徒歩7分

YCUスクエアは、正門を入ってすぐ右手奥にある大きな建物です！



横浜市立大学
八景キャンパスYCUスクエア

紙芝居の紹介

横浜紙芝居普及会の山下康さんが創作したお話に、横浜市立大学美術部の有志学生3名が絵を描き完成しました。海外の方向けに英・中・スペイン語のあらすじもあります。

友情の トライアングル

①友情のトライアングル
関東大震災のとき、横浜関内で被災した日本・インド・カナダ人家族の絆と交流の物語。

②お手紙
広島で原爆による後遺症に悩むジージと、横浜に住む孫の和ちゃんの物語。



③天女と五頭竜
藤沢に伝わる民話。村人たちに酷い仕打ちを繰り返していた五頭竜が、美しい天女様に恋をして…

横浜紙芝居普及会（街頭紙芝居）

独学ではじめて19年。子どもさんには“思いやりと勇気の種”を、おじーちゃんやおばーちゃんには“元気の素”をお届けいたします！

- メンバー 代表 山下康、ほか7名。
- 代表経歴
1998年10月 ショッピングセンターで「街頭紙芝居」を始める
2004年1月 同ショッピングセンターで延べ観客1万人達成
2006年1月 県立神奈川近代文学館で公演開始
2012年7月 金沢自然動物園『ののほな館』で公演開始
2015年10月 「横浜紙芝居普及会」設立
2016年7月 青山草月ホールで2回目のシャンソンミュージカルと共演
現在も月平均4回の公演を行う

